

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492100092	事業の開始年月日	平成21年11月1日	
		指定年月日	平成21年11月1日	
法人名	株式会社メディカルケアシステム			
事業所名	グループホームちいさな手鎌倉の杜			
所在地	(247-0066) 鎌倉市山崎756-2			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成22年10月21日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月23日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1492100092&SCD=320
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鎌倉という由緒ある土地、お洒落なホームで毎日、活気があり楽しみのあるホームを目指し、安心して生活して頂けるよう自立支援に向けて努めています。ご本人様、御家族様から、ここで良かったと言って頂けるホームを目指しています。また、週1回の訪問診療、訪問看護を実施し病気の早期発見、早期治療を行い医療との連携を高めています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成22年11月10日	評価機関 評価決定日	平成22年12月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは、JR大船駅から京急バスで「湘南鎌倉総合病院前」下車5分位の交通の便利な場所にあります。鎌倉の山を背負って陽だまりにある洒落た2階建ての建物はグループホームとは思えない高級感あるつくりです。

優れている点

建物の中央に設けられた居間は食堂や事務のコーナーからいつも職員の目が届く場所にあり、職員から声をかけられながら入居者は安心してくつろいでいます。居間からウッドデッキでつくられた中庭にはいつでも出入りができ、安らげる落ち着いた場所となっています。多くの入居者が近隣の方で、家族の訪問も毎日のように来られる方もあり、また二組のご夫婦が入居されていて利用者全員が自宅の延長のような生活です。家族会だけでなく、日常の支援の中でも家族をまじえ、要望や意見など話し合い支援に反映しています。

入居者には担当の職員が配置され、話し相手になるだけでなく、家族の相談相手になり、担当医師、看護師の意見を取入れ現状に即したケアが行われています。重度化した場合や終末期のあり方にも入居される時に事業所の指針を説明して対応出来る体制が整備されています。

工夫されている点

県内に同法人の4事業所があり、各事業所が毎月交替で担当になり、情報の共有や介護技術の向上を図り、よりよい質のサービスを習得するための職員の教育の仕組みができています。入居者の交流についてもお互いのレクリエーションに参加し、日々の生活に変化と活性を図っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手鎌倉の杜
ユニット名	1F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「LOVE・LIVE・LIFE... 愛・生きる喜び・快適な生活」3Lの精神、入居者の皆様・スタッフひとりひとりの幸せをつなげて大きな幸せになるよう豊かな生活の実現に取り組んでいます。	玄関に入ると1階と開放感のある吹抜けの2階から、楽しそうな入居者の元気な笑い声が聞こえて来ます。玄関に掲げてある「生きる喜び、快適な生活」という理念を入居者とスタッフが小さな手を取り合って実践されていることが伝わってきます。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議時には、市役所いきいき課、近隣住民、民生委員の方々にも参加頂き、更に防火訓練には近隣住民の方や地域の消防署にも参加して頂き、連携強化に努めています。	地域の消防署の指導による防火訓練には事業所の隣に住まわれる地主の方を始め、近隣の方々が参加されています。事業所には連日、近隣の家族の方々が数組も訪問されています。	開設以来、ちょうど1年経過し、運営推進会議には町内会長さん、民生委員の方々が参加されています。、今後は近隣の一般の住民の方々と顔馴染みになり、日常的に交流されることを期待します。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議時に当ホームが地域としての役割について話し合う災害時などは、地域の方と協力関係を保ち努めていくように考えています。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	色々な分野の方々から御意見を頂き、地域密着型のサービスを行わせて頂いております。グループホームにあっては、地域の方々からの御意見は貴重だと考えております。	運営推進会議には町内会長の方、市の職員、民生委員、近隣住民の方々が意見、要望などが出され活発な意見交換が行われています。閉鎖的なゲートは常時開放を要望されるなど地域にとけこんだ会議となっています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	交流に関しては決して多いとは言えませんが、市で行う介護フェア等には参加しております。	開設時、事業所に必要な書類や留意点など市の職員の方と数回に渉り、確認したり、運営推進会議では意見交換や情報交換などを行い、サービス上の問題解決を図っています。市が主催する介護フェアに参加協力しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束は実施しておらず、転倒防止においてはプロテクターパンツを履いて頂いております。（転倒の危険性のある方）	事業所では身体拘束ゼロを目指し、排除宣言に向けてスタッフ一体となり、取り組んでいます。門扉を開放したためやむを得ず玄関は施錠していますが花々が多い中庭はスタッフの目が届いています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関してはミーティングの場や勉強会の場で指導を行っております。虐待に関して当ホームにおいては、事例はないが、継続して指導を行って行きたいと思っております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度に関する、学びの機会が現在まで無い為、活用できていない状況に有ります。これからの勉強会においてこの分野を検討して参ります。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時には当ホームの説明および理念、方針、規約の御説明を徹底し、御家族と当ホームとの考え方に隔たりが生まれないように努めております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を開催し、御家族様の御意見をしっかりと受け止めると共に、運営に反映させる努力をしております。	近隣の家族が多く、一日に5組の時もあります。訪問された時はいつも個別的な話合いの機会を設け、意見交換や情報の共有を図っています。家族会では事業所の現状、行事計画、医療機関との連携、消防関係など報告、相談し、運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	新人職員については、先輩職員と1対1で対応しております。先輩職員に対しては、指導を通じて成長して頂くように努力しております。	毎月、月末にホーム長を中心にスタッフ全員による勉強会をまじえたミーティングを開催しています。入浴、食事、服薬、排泄など日常のサービスについて皆で意見を出し合い、サービスに反映させています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	OJTを使用し、ひとりひとりの評価を行っております。人員体制を手厚くし、ケアに工夫、余裕を持てる職場整備に努めております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	当ホームにおいては月1回介護技術向上勉強会を実施し看護師勉強会、薬剤師勉強会も合わせて実施することで、職員の解雇技術の向上につとめております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームのスタッフ、ご入居者様に来訪して頂きました。今後、交流の機会を持っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境にご入居様がなじめるように、コミュニケーションを多く取り、不安を取り除いて頂けるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている	ご入居されてから御家族様にはご入居者様の御様子をお伝えしながら御要望等をお聞きし、ケアにつなげることで、信頼関係をきついでいけるように努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後1箇月間は、ご入居者様の様子を確認し、必要なサービスをケアカンファレンス時に話し合いを行いケアにプランに活かしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御家族様と電話、来所時、ご入居者様のケアについて相談させて頂き、御要望を活かした対応をさせて頂いております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご入居者様とコミュニケーションの場を多くとらせて頂き、信頼関係の構築に努めております。可能な事はご入居者様御自身に行って頂き、共に生活して頂いている事を忘れずに1日、1日を過ごしてまいります。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人様の大切な知人、御友人等のお話をお聞きしたり、行きたい思い出の場所のお話をお聞きし、実現化に努めております。	アセスメントの資料を大切に、これまでの本人の人間関係や役割を把握しています。「私をわかってシート」を本人に書いてもらい、懐かしい、行きたい場所や趣味などニーズを引出し、生きがいをもてる支援を検討しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、個別対応を行い、孤立状況を避け、活気のある生活を送って頂いております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の御家族様とは、積極的な交流を取れていない状況に有ります。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様と話し合いの機会を設ける。その際、ご希望やご意向を伺い、その際ケアプランに取り入れ活かしています。	「私をわかって・・・シート」により、これまでのくらしの様子や介護サービスの有無、繰返し話される以前の仕事の事等引出して本人の思い等に対応し、支援に活かしています。居室担当職員を決め、何でも聞ける馴染みの人を配置しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談時に生活の様子、介護サービスの有無など、ご本人様にあったサービスの提供を行っています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック、食事、水分摂取量の確認を行い記録に残し現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	御利用者様と1対1の面接を行い、3か月に1回ケアカンファレンス、6か月に1回ケアプランの作成を行っています。スタッフ、担当医師、看護師の意見を取り入れ作成し、ご家族様に説明を行っています。	6ヶ月毎の介護計画をスタッフ全員が参加する毎月のミーティングで検討し、3ヶ月毎に見直しを実施され、評価しています。家事は体感を呼び起こしやすい場面ですので役割等の環境づくりをし、楽しくすごせるよう、支援しています。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ケアプランに沿って日常の生活を過ごして頂き記録を行っています。ご入居者様の日常生活の様子観察を行い、みなおしし、必要なサービスに繋げております。			
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	出来る限り、御要望に応じさせて頂き、支援させて頂くように努めております。			
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	運営推進会議を行っている為、地域の方と連携を取らせて頂いております。消防署とは、消防訓練の相談を行い対応させて頂きます。他機関との協力体制を今後も努めて行きたいと思っております。			
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	提供医療機関との連携に努め、週1回の訪問診療体制のケアを行っています。24時間の医療協力体制の連携を行っています。	本人や家族とよく話し合い希望によりかかりつけ医の支援もしています。協力医療機関とは24時間対応可能で、看護師による週1回の訪問看護により身体チェックを受け、早期発見・早期入院・早期退院を心がけて支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を行い、看護師との連携を取る対応をしております。ご入居者様の身体チェックをして頂き、医療面のアドバイスを頂いております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	長期の入院は避けるように努めております。主治医との連携を図り、病気や怪我の早期発見に努め、可能な限り、長期の入院は避けるように考えております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様へ看取りケアの方針のご説明や、主治医がこれ以上回復が望めない判断をした際に、ご家族様、主治医、看護師、ホーム長、介護主任、ケアマネージャーで方針を決め対応します。	事業所には「ちいさな手鎌倉の杜における看取りに関する指針」が用意され話し合いを繰返しながら本人、家族の意向を確認し、共有を図っています。看取りに関するスタッフの教育体制も図っています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成を行い対応をしております。又、協力医療機関との連携を図り、状態に応じた対応に努めております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方との連携を取らせて頂いております。消防署とは、消防訓練の相談を行い対応させて頂いております。他機関との協力体制を今後も深めて行きたいと思っております。	地元の消防署の署員により、スタッフ、入居者の避難訓練、消火器の使い方など指導され、また運営推進会議で町内会の方々の協力について話し合いがされています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様が言われる事を第一に考え、否定しない介護を心がけ、対応を行います。個人情報に注意をし、対応しております。	職員は入居者との共感を大切に、個々の願望に添った介護を心がけ、対応するように努めています。個人情報ファイルは、鍵のかかるロッカーに保管し、声かけや言葉遣いについては個人の尊厳を損なわないように注意しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	工夫した声かけを行い、ご入居者様の意志を尊重する。決め付けた声かけを行わないように注意し、対応しております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天気の良い日は散歩の提供をさせて頂き、ご入居者様の参加の有無を伺う。又、それぞれのご入居者様の得意とされるものを考えレクリエーションに取り入れております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧されるご入居者様は自由に行って頂いております。行きつけの床屋に行かれるケースや訪問理容を受けお好きな髪形にして頂いております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や食器洗いは、ご入居者様に快くお手伝いいただくように工夫した声かけを行っております。又、中華バイキングや鉄板レクリエーション等の食材レクや、ホームで栽培した野菜を召し上がって頂いております。	職員は入居者とともに食卓を囲んで同じメニューの食事をとります。自分で食べるのが困難な入居者には職員が介助しますが、手の空いた職員が交代で行い、和気あいあいとした雰囲気です。配膳や後片づけは入居者も手伝っています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材は業者に依頼し、栄養管理はしっかり行っております。水分確保については、食事の時間だけではなく、2時間おきにお茶の時間やおやつとの時間と共に摂取を心がけております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施しております。ご本人様に出来るだけ行って頂き、口腔内の清潔保持に努めております。又、誤嚥性肺炎の防止に努めております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの確認を行い定時トイレ誘導、声かけを行い、なるべくご入居者様に排泄習慣をつけて頂ける様に対応しております。	自分でトイレに行ける自立者は1階に3名、2階に4名おり、他の入居者には支援が必要です。排泄表の活用や定時トイレ誘導等により、できるだけおむつを使わないように工夫し、トイレでの排泄習慣をつけて、自立度を高める努力をしています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状況の確認に努め、担当医師の指示のもと、下剤の調節を行い対応しております。又、こまめな水分補給や、個別ケアを行い、歩いて頂く時間を増やし、対応を行っております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に1日おきに入浴を行っております。スタッフ1対1で入浴介助を行わせて頂き、ゆっくりとした時間を過ごして頂いております。又、入浴前には必ずバイタル測定を行い見く管理に努め対応しております。	火木土曜日が入浴日で、午前中から3時ごろまでのうち好みの時間を選べます。バスタブは大きめで、ゆったりと湯につかることができ、1対1で入浴介助を行います。事前にバイタルチェックをして、体調により清拭にすることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	極力、ご入居者様ペースで過ごして頂き、無理強いせず、のんびりお過ごし頂いております。昼食後を中心に静養して頂くように努めております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師、薬剤師の指導を受け薬の内容や用法・用量の説明を受け、申し送りを徹底し、対応しております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗いや、食器拭きのお手伝いや、ごみ袋の作成等のお手伝いをして頂き出来る範囲での役割分担をして頂く。外出レクリエーションを実施し気分転換をさせて頂いております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候の良い日の散歩、個別ケア、外出レクリエーション、ドライブなどを行い、ホーム外での活動を実施しております。	入浴のない日の午前中に近所の公園や空き地などに出かけたり、車いすの入居者にも気分転換にできるだけ外出するように努めています。時には江の島や大船フラワーパーク等にも遠出したり、買い物への付き添いなど個人的な支援も行っています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、立替が多く金銭所持を使用している方は少ない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様のご希望を伺い、お電話して頂いたり、お手紙のやり取りを行って頂き、対応しております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や廊下には観葉植物を設置し、窓の外に見える風景と隔たりを感じない様な取り組みを行っております。季節に応じた置物等により季節感を味わって頂く取り組みも実施しております。	居間、廊下、トイレ、浴室等の共用空間は広めに設計され、採光には特に留意されたデザインです。中庭はウッドデッキで、いつでも外の空気と接することができます。季節の草花や観葉植物が飾られ、入居者の作品も展示されています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	当ホーム1階2階の中間に中2階を設け1階2階のご入居様が自由に入出入り出来る空間としてご利用頂いております。更に、中庭のウッドデッキでは夕涼みなども楽しんで頂いております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具全般は、ご本人様の愛着のあるものを使用頂き、使用して頂いております。ひとりひとりのご入居者様のお部屋は独得の雰囲気となっております。	1室当たりの面積は11.18㎡で、ゆったりとしています。ベッドと寝具はレンタルで、シーツ、枕カバー等は2週間に1度交換します。家具などの持ち込みは自由で、新聞も購読できます。居室担当者が衣類などの整理を手伝っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	可能なことは、ご入居者様に行って頂いております。個別ケアを行い、筋力低下の予防、刺激のある生活を、日々送って頂けるように努めています。		

事業所名	グループホームちいさな手鎌倉の杜
ユニット名	2F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「LOVE・LIVE・LIFE... 愛・生きる喜び・快適な生活」3Lの精神、入居者の皆様・スタッフひとりひとりの幸せをつなげて大きな幸せになるよう豊かな生活の実現に取り組んでいます。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>運営推進会議時には、市役所いきいき課、近隣住民、民生委員の方々にも参加頂き、更に防火訓練には近隣住民の方や地域の消防署にも参加して頂き、連携強化に努めています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>運営推進会議時に当ホームが地域としての役割について話し合う災害時などは、地域の方と協力関係を保ち努めていくように考えています。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>色々な分野の方々から御意見を頂き、地域密着型のサービスを行わせて頂いております。グループホームにあっては、地域の方々からの御意見は貴重だと考えております。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>交流に関しては決して多いとは言えませんが、市で行う介護フェア等には参加しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束は実施しておらず、転倒防止においてはプロテクターパンツを履いて頂いております。（転倒の危険性のある方）		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関してはミーティングの場や勉強会の場で指導を行っております。虐待に関して当ホームにおいては、事例はないが、継続して指導を行って行きたいと思っております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度に関する、学びの機会が現在まで無い為、活用できていない状況に有ります。これからの勉強会においてこの分野を検討して参ります。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時には当ホームの説明および理念、方針、規約の御説明を徹底し、御家族と当ホームとの考え方に隔たりが生まれないように努めております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を開催し、御家族様の御意見をしっかりと受け止めると共に、運営に反映させる努力をしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	新人職員については、先輩職員と1対1で対応しております。先輩職員に対しては、指導を通じて成長して頂くように努力しております。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	OJTを使用し、ひとりひとりの評価を行っております。人員体制を手厚くし、ケアに工夫、余裕を持てる職場整備に努めております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	当ホームにおいては月1回介護技術向上勉強会を実施し看護師勉強会、薬剤師勉強会も合わせて実施することで、職員の解雇技術の向上につとめております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームのスタッフ、ご入居者様に来訪して頂きました。今後、交流の機会を持っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境にご入居様がなじめるように、コミュニケーションを多く取り、不安を取り除いて頂けるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居されてから御家族様にはご入居者様の御様子をお伝えしながら御要望等をお聞きし、ケアにつなげることで、信頼関係をきづいていけるように努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後1箇月間は、ご入居者様の様子を確認し、必要なサービスをケアカンファレンス時に話し合いを行いケアにプランに活かしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御家族様と電話、来所時、ご入居者様のケアについて相談させて頂き、御要望を活かした対応をさせて頂いております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご入居者様とコミュニケーションの場を多くとらせて頂き、信頼関係の構築に努めております。可能な事はご入居者様御自身に行って頂き、共に生活して頂いている事を忘れずに1日、1日を過ごしてまいります。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人様の大切な知人、御友人等のお話をお聞きしたり、行きたい思い出の場所のお話をお聞きし、実現化に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、個別対応を行い、孤立状況を避け、活気のある生活を送って頂いております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の御家族様とは、積極的な交流を取れていない状況に有ります。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様と話し合いの機会を設ける。その際、ご希望やご意向を伺い、その際ケアプランに取り入れ活かしています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談時に生活の様子、介護サービスの有無など、ご本人様にあったサービスの提供を行っています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック、食事、水分摂取量の確認を行い記録に残し現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	御利用者様と1対1の面接を行い、3か月に1回ケアカンファレンス、6か月に1回ケアプランの作成を行っています。スタッフ、担当医師、看護師の意見を取り入れ作成し、ご家族様に説明を行っています。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ケアプランに沿って日常の生活を過ごして頂き記録を行っています。ご入居者様の日常生活の様子観察を行い、みなおしし、必要なサービスに繋げております。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	出来る限り、御要望に応じさせて頂き、支援させて頂くように努めております。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	運営推進会議を行っている為、地域の方と連携を取らせて頂いております。消防署とは、消防訓練の相談を行い対応させて頂きます。他機関との協力体制を今後も努めて行きたいと思っております。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	提供医療機関との連携に努め、週1回の訪問診療体制のケアを行っています。24時間の医療協力体制の連携を行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を行い、看護師との連携を取る対応をしております。ご入居者様の身体チェックをして頂き、医療面のアドバイスを頂いております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	長期の入院は避けるように努めております。主治医との連携を図り、病気や怪我の早期発見に努め、可能な限り、長期の入院は避けるように考えております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様へ看取りケアの方針のご説明や、主治医がこれ以上回復が望めない判断をした際に、ご家族様、主治医、看護師、ホーム長、介護主任、ケアマネージャーで方針を決め対応します。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成を行い対応をしております。又、協力医療機関との連携を図り、状態に応じた対応に努めております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方との連携を取らせて頂いております。消防署とは、消防訓練の相談を行い対応させて頂いております。他機関との協力体制を今後も深めて行きたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様が言われる事を第一に考え、否定しない介護を心がけ、対応を行います。個人情報に注意をし、対応しております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	工夫した声かけを行い、ご入居者様の意志を尊重する。決め付けた声かけを行わないように注意し、対応しております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天気の良い日は散歩の提供をさせて頂き、ご入居者様の参加の有無を伺う。又、それぞれのご入居者様の得意とされるものを考えレクリエーションに取り入れております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧されるご入居者様は自由に行って頂いております。行きつけの床屋に行かれるケースや訪問理容を受けお好きな髪形にして頂いております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や食器洗いは、ご入居者様に快くお手伝いいただくように工夫した声かけを行っております。又、中華バイキングや鉄板レクリエーション等の食材レクや、ホームで栽培した野菜を召し上がって頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食材は業者に依頼し、栄養管理はしっかり行っております。水分確保については、食事の時間だけではなく、2時間おきにお茶の時間やおやつの時間と共に摂取を心がけております。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアを実施しております。ご本人様に出来るだけ行って頂き、口腔内の清潔保持に努めております。又、誤嚥性肺炎の防止に努めております。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンの確認を行い定時トイレ誘導、声かけを行い、なるべくご入居者様に排泄習慣をつけて頂ける様に対応しております。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄状況の確認に努め、担当医師の指示のもと、下剤の調節を行い対応しております。又、こまめな水分補給や、個別ケアを行い、歩いて頂く時間を増やし、対応を行っております。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本的に1日おきに入浴を行っております。スタッフ1対1で入浴介助を行わせて頂き、ゆっくりとした時間を過ごして頂いております。又、入浴前には必ずバイタル測定を行い見く管理に努め対応しております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	極力、ご入居者様ペースで過ごして頂き、無理強いせず、のんびりお過ごし頂いております。昼食後を中心に静養して頂くように努めております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師、薬剤師の指導を受け薬の内容や用法・用量の説明を受け、申し送りを徹底し、対応しております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗いや、食器拭きのお手伝いや、ごみ袋の作成等のお手伝いをして頂き出来る範囲での役割分担をして頂く。外出レクリエーションを実施し気分転換をさせて頂いております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候の良い日の散歩、個別ケア、外出レクリエーション、ドライブなどを行い、ホーム外での活動を実施しております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、立替が多く金銭所持を使用している方は少ない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様のご希望を伺い、お電話して頂いたり、お手紙のやり取りを行って頂き、対応しております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や廊下には観葉植物を設置し、窓の外に見える風景と隔たりを感じない様な取り組みを行っております。季節に応じた置物等により季節感を味わって頂く取り組みも実施しております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	当ホーム1階2階の中間に中2階を設け1階2階のご入居様が自由に出入り出来る空間としてご利用頂いております。更に、中庭のウッドデッキでは夕涼みなども楽しんで頂いております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具全般は、ご本人様の愛着のあるものを使用頂き、使用して頂いております。ひとりひとりのご入居者様のお部屋は独得の雰囲気となっております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	可能なことは、ご入居者様に行って頂いております。個別ケアを行い、筋力低下の予防、刺激のある生活を、日々送って頂けるように努めています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣の方々との交流が少ない	ご近所の方と顔なじみになり「この人はホームの人」と解って頂く事により、気軽にいつでもホームに立ち寄って頂ける環境にしていきたい。	ホームで月に1回行っている行事レクリエーションには、近所の方にも参加して頂き交流をはかっていく。また、近くにある山崎保育園に声をかけさせて頂きホームと一緒にゲーム等のレクを楽しむ中で交流をもっていきたい。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。